
どうしようもない話

ムネソラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どろじょうもない話

【コード】

N0953Q

【作者名】

ムネソラ

【あらすじ】

どろじょうもないヤツが、どろじょうもない状態で、どろじょうもないことをする話。

僕のせいなのだろうか？

どうしてこんなことになってしまったんだろう？

僕は後悔していた。どうしようもないくらい後悔していた。

あいつは僕の言うことなど聞くようなヤツじゃなかった。僕が後悔したところでしようがないし、実際何もできなかったのかもしれない。

でも僕はどうしても後悔してしまう。だって、たとえ何もできなかったとしても、あいつを止められたのは僕一人だったからと思うからだ。

あいつは世界を滅ぼした。たった2週間にも満たない……。世界は12日という、たったそれだけの期間だけで跡形も無く破壊されてしまった。

いったいどれだけの人が死んでしまったのだろうか……。いや、人だけじゃない、この地球に住む多くの生命体がこの地球上から消えてしまった。

遙か36億年前の、草木も生まれていないあの頃の地球に戻ってしまったかのようだ。僕の周りに生命と銘打てるものは一切なくなってしまった。

たぶんこれはきつと僕のせいなのだ。僕が犯した罪でもあるんだ。僕は生きていた。すべてがなくなってしまったこの地球上に、僕は生きていた。もしかしたら、本当に僕だけが生きているのかもしれない。生命体の死骸だけが転がるこの星で、僕だけが生きているのかもしれない。

これは罰だとも言うのだろうか。あいつを止められずに世界の終わりを止めることができなかった僕の……。

遠くの方で太陽が沈もうとしていた。この星で唯一僕を暖めてくれていた太陽までも、もう沈もうとしていた。

まるで太陽までもが俺を軽蔑しているように思えた。

もうどうしようもなかった。もう過ぎ去ってしまったことだった。どんなに後悔しても、どんなにやり直す機会を望んでも、もうこの星には生命がいなかった。すべて死んでしまつて、もう元に戻ることもなんて決して無かつた。

僕は地上に吸い込まれていく太陽を、ただ眺めていた。太陽は最後にひどく綺麗な輝きを放つて、僕の前から消えていった。

次第に空も色を失つて、あたりは徐々に夜の景色へと変わつていく。

僕はゆっくりと目を閉じた。どうせあたりは暗いのだ。

そして僕は握りしめていたナイフの柄に力をさらに込める。

本当に申し訳なく思っている。あいつを止められなかつたのは僕なのだ。

どんなに謝りたくても、もうこの謝罪を受け止めてくれるものなどいない。でも僕は謝らずにはいられなかつた。

本当に、ごめん……。

僕は最後に愛する人のことを想つた。僕はキミすらも守れなかつたんだ。

僕は目をつぶつたままひざまずき、両腕を広げ、天をあおいだ。

これは別に、謝罪ではない。僕はまた逃げるんだ。このまま生きていこうとは思わない。僕はこの闇が、耐えられない……。

そのまま腕を前に移し、僕はナイフを両手で構える。

どうしてこんなことになつてしまつたんだろう？ どうしてあいつだつたんだろう？ どうして……、僕だつたんだろう……。

答えなど出なかつた……。たとえ出たとしても、もうどうしようもなかつた。

僕はいきよい良く、ナイフを胸に突き立てた。まるで熱いマグマが、心臓に注ぎ込まれているようだった……。

そのとき見開いた目の中には、満天の星空がきらめいていた。

ああ……、まるで死んでいったものたちが、空で輝いているよう

だ。
と、僕は思った。

(後書き)

以上、どうしようもない話でした。

……そろそろ、ちょっと長めの書こうかなあ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0953q/>

どうしようもない話

2011年1月16日04時47分発行